

## 手を合わせる

先日、1年生の教室をのぞくと冬休みの思い出を描いていました。そこでは何人もの子ども達が、初詣を選び、鳥居を大きく描いていました。また、今月の西部っ子ニュースにもまた家族でお参りしたことが「二礼二拍手一礼」を覚えた喜びと共に書かれていました。

小さな時から手を合わせることは、家庭の中で連綿として受け継がれて欲しい習慣の一つだと思います。私も管理職になってからは、勤務校に一番近い神社に毎月お手合わせに行くようにしています。感謝の気持ちが自然と湧いてくることを感じています。見えるものだけでなく、見えないものにも心を向けることは日々の生活を丁寧にしてくれるように思います。

能登半島地震等心痛むことが続きますが、誰かの幸せを願って手を合わせるという行為は、どこかで見えない力が働くことになると信じています。



入賞おめでとう！

## 【神崎市子どもマイスター賞】

3年 吉岡 あん

「知ってもらいたいな 千代田で育つ  
玉ねぎ、お米」

\* 今回論文作成のために、川崎ファーム様には、何度も体験や見学を受けいれていただきました。本賞は貴事業所の協力なしには成し得なかったことです。心よりお礼申し上げます。

## 【新春読書感想文】

優秀賞

1年 藤沢 いろは

2年 川野 はるか

5年 小森 みお

6年 山田 れおう

作品は廊下に掲示していただきますので、ぜひご覧ください。

## 書く力の向上

マイスターを今回受賞した子ども達。どの作品も単なる感想ではなく、学んだことや自分の考えが記述されていたとのことです。

本校でも振り返りに自分の学びを記録することを重視し、全学年で取り組んでいます。今回のマイスター賞は3年生全てでやったからこそその受賞だと思います。

また、西部っ子ニュースでも急に伸びる時があります。今月は2年生にそれを感じました。(裏面もご覧ください)やはり学級全体、学校全体でやることの効果を感じます。

前回紹介した「おどる人形」は、1週間も経たないうちに読破してしまっていた内田誠さんでした！読む力もしっかり伸びていますね！！

## 残菜0週間がスタート

「いつもやっていることですよね」

とある5年生の子どもが、残菜0週間についての先生の話聞きながら答えました。残さず食べることが校内に定着していると感じました。それを裏付けるように、今年の残菜は昨年より更に減っています。調理場の先生方からも日によってはほぼ完食の時もあるので有難いとの言葉をいただいています。

2月の全校朝会では子ども達のがんばりを紹介したいと思っています。好き嫌いを減らすことは、これからの身体づくりだけでなく、**一生の健康をつくってくれる財産**になると思います。

## 給食週間

24日～30日



食べる前にすでに食缶が空になっています。さすが2年生！！

## 21日(日)は日曜参観です

今年度最後の授業参観となります。車はグラウンドに停めてください。天候が少々心配されますが、通常どおり開催できそうです。

6年生は富永ボンドさんを招聘しての、親子ふれあいになっています。どんな作品になるのか子ども達もわくわくのようです。